

みんなで創ろう コウノトリの里

今回のテーマは、

Vol. 6

～コウノトリに会いに行こう！～

です！

このコーナーでは、本市に縁の深いコウノトリや豊かな自然環境とその保全に向けた取り組みなどを取り上げ、本市が進める「人にも生きものにもやさしいまちづくり」についてご紹介します。

問い合わせ／地域活性化特命チーム（内線2112）

夏休み!!コウノトリ親子見学会の参加者を募集

皆さんは、大空を舞うコウノトリを見たことはありますか？国内では、約80羽のコウノトリが野外で生息しています（5月9日現在）。身近なところでは、埼玉県こども動物自然公園が、県内で唯一、コウノトリを飼育しており、昨年は待望のヒナが誕生するなど注目が集まっています。

そこで「こうのす」という地名の由来とも言われるコウノトリに会いに行く親子ツアーを企画しました。幸せの鳥「コウノトリ」に会いに行きませんか？飼育員さんからのコウノトリの話もあり、夏休みの自由研究にもピッタリです。

とき／7月31日(日)9時45分陸上競技場駐車場集合、16時30分頃帰着予定

ところ／埼玉県こども動物自然公園（東松山市）

対象／小学生 ※保護者同伴

定員／40人（定員超えの場合は抽選）

内容／豊かな自然のシンボルである「コウノトリ」の見学などを通じて、たくさんの生きものが生息できる自然環境の大切さについて学びます

費用／大人＝510円（入園料・当日集金）、小学生＝無料

その他／昼食は各自で用意してください。3時間程度、自由見学の時間があります

申込み・問い合わせ／7月1日(金)～15日(金)に電話で地域活性化特命チーム（内線2112）

■ 昨年の親子見学会の様子を紹介します (写真提供：埼玉県こども動物自然公園)

たくさんのお友達が参加してくれました。

「初めてコウノトリを見た」という声が多く聞かれました。



昨年は3羽のヒナが誕生！今年も会えるかな？



コウノトリのくらしや成長などを飼育員さんから教えてもらったよ



たくさんの生きものの中で私たち人間も暮らしているんだね

ひなちゃんの豆知識



コウノトリは、国際自然保護連合のレッドリストで絶滅危惧ⅠB類（EN）に指定されているなど、国際的にも希少な生きものだよ。国内では、野外で生息しているほかに、19の動物園などで194羽が飼育されているんだ（平成27年11月27日現在）。

野外で生息するコウノトリと、飼育されているコウノトリを一体的に管理するために、関係する機関や施設が集まって「コウノトリの個体群管理に関する機関・施設間パネル（IPPM-OWS）」が設立され、遺伝的な多様性を確保するための血統管理や繁殖計画などが進められているよ。

たくさんの人たちが力を合わせて、コウノトリという希少な種を守っているんだね。